

第 19 回介護福祉士 国家試験 問題・解説（やまだ塾）

＝⑫介護技術＝（問題 81～問題 91）

（2007 年 5 月 28 日ホームページ掲載）

【介護技術】

問題81 健康状態のアセスメントに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 血圧は、排尿を我慢していると低くなる。
- B. 高齢になると、一般的には体温は高くなる。
- C. 高齢になると、一般的には肺活量は低下する。
- D. 脈拍は、利用者の不調を知る手がかりとなる。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	○	×	×	×
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問題 81: 正答 5 × × ○ ○

A. ×「低くなる」のではなく「高くなる」である。排尿を我慢すると血圧が上がるが、その状態で排尿すると今度は一気に血圧が下がるので、脳貧血を起こして倒れてしまうことがあるので注意が必要である。また、排便に関しては、トイレで力むと血圧が上がるので、便秘解消に努める必要がある。

B. ×「高くなる」のではなく「低くなる」である。成人の体温は 36～37℃であるが、高齢者の場合はそれより 0.2～0.5℃ほど低めである。そのために、微熱であっても病気の可能性もあるので注意が必要である。ただし、平熱には個人差があるので、平熱を知っておく必要がある。

C. ○老化により肺細胞などが減少することによって肺活量が大幅に低下する。30 歳を基準として、60 歳を超えると 30～40%程減少するといわれ、これらの機能低下により肺炎を起こしやすくなるとされる。

D. ○脈拍とは、心臓の拍動につれて動脈中におこる圧の変動をいう。普段は安定しているが、身体に異常があると脈拍数やリズムなどが変わるため、これを測ると全身の健康状態を知る手がかりになる。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題82 福祉用具に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 介護保険制度によりいったん貸与された車いすは、機種を変更することができない。
- B. ベッド上で座位にする際、背上げ機能よりも先に膝上げ機能を使用することで、安定した座位を確保できる。
- C. 福祉用具使用の目的には、介護者の介護負担の軽減も含まれている。
- D. エアマットは、臥床時の体圧分散を図ることを目的としている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問題 82: 正答 4×○○○

- A. ×「機種を変更することができない」ではなく「機種を変更することができる」である。福祉用具の貸与(レンタル)については、あらかじめ居宅介護サービス計画に組み込む必要があり、利用にあたっては、要介護度ごとに定められた限度基準額の範囲内で貸与され(自己負担は1割)るが、要介護度ごとに定められた限度基準額の範囲内であればレンタル中の機種変更は可能である。
- B. ○ベッドの背上げ機能で起き上がる際に、先に膝角度を上げておくことで、臀部にかかるズリ落ちようとする力を軽減し、足側へのズリ落ちを抑えることができる。
- C. ○福祉用具の使用の目的は、介護が必要な人が自立した生活をすることができるように支援するとともに、介護者の介護負担の軽減を図ることである。
- D. ○エアマットは、「福祉用具貸与の対象」であり、褥瘡の予防、進行を抑える目的で用いられる送風装置または空気圧調整装置を備えた空気マットのことである。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題83 食事の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 生卵、こんにゃくは誤嚥しにくい。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- B 利用者の目線より高い位置からの食事介助は、誤嚥しやすい状態をつくる。
 C 食欲が低下している原因の一つとして、義歯の不具合がある。
 D 食事時のいすは、踵が床に着く高さで、テーブルは肘が楽に置ける程度の高さがよい。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

問題 83: 正答 4×○○○

●ADL が低下した高齢者にとって、食事の機能は最後まで残存すると考えられている。高齢者の最大の死因となっている誤嚥性肺炎予防の重要性は社会的に認識されているが、全ての利用者に対して十分な対応が取られているとは言えないという指摘がされている。

A. ×「誤嚥しにくい」ではなく「誤嚥しやすい」である。表面が滑らかでも、しっかりと噛んで舌でまとめなければならない物や鳥のささみのようにパサパサしてまとめにくいものは誤嚥しやすい。一方、誤嚥しにくいものは、①噛み砕いたり舌で押しつぶす必要がなく、姿勢の工夫だけで咽頭方向に送り込めるもの(ヨーグルトなど)、②舌で押し潰すことができ、舌でまとめやすい性状であるもの(豆腐やプリンなど)、である。

B. ○上から介助すると利用者も上を向くことになり、誤嚥の原因になるので、介助者も利用者と同じ目線で、食べ物は下から口に運ぶように介助することが大切である。

C. ○一般的に、高齢者は、身体的な原因や社会・心理的な原因から、食欲不振を起こしやすい。身体的な原因としては、味覚・嗅覚・視覚の減退、生活活動量の低下、発熱、便秘、慢性疾患、薬剤常用、義歯による痛み・違和感、などがあげられ、社会・心理的な原因としては、不安や悩み、抑うつ・ストレス、睡眠不足などがある。

D. ○食事の姿勢のポイントは、①前かがみの姿勢がとれる、②いすに背もたれがある、③テーブルが肘が楽に置ける程度の高さで高すぎない、④かかとが床につく、である。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題84 排泄の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 女性の利用者が「便が出ました」と言ったので、肛門から前方に拭いた。
 B. 利用者が「便が出ない。おなかが張って苦しい」と言ったので、摘便をした。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- C. 便秘気味だったので、看護師や栄養士に相談して、海草、さつまいもを使った献立にした。
 D. おむつ交換したとき、黒色の便が観察されたので、便を保存して、看護師に報告した。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 84: 正答 5 × × ○ ○

- A. × 女性は尿路感染予防のために前方から肛門に向かって拭き取る。陰部を拭くときも肛門側から尿道口へ向かっては拭かない。
 B. × 宿便のある場合は、排便、浣腸による宿便の除去、洗腸をすることがあるが、医療専門職に相談しなければならない。
 C. ○ かつての日本人は玄米、豆、ごま、麦、きびなどを主食とし、豆、いも、青菜、海草などを副食とすることにより、自然に便秘症や成人病を予防してきたといわれている。
 D. ○ 異常に気づいたり、不安や心配などがあれば介護従事者で判断せず、医師専門職に報告・相談する。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題85 睡眠に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 高齢になると、一般的に夜間の睡眠時間が長くなる。
 B. 睡眠にはリズムがあり、浅い眠りのノンレム睡眠と深い眠りのレム睡眠を周期的に繰り返す。
 C. 空腹や身体の冷えは、入眠の妨げとなる。
 D. 日中の活動量を増やすことは、夜間の安眠のために有効である。

(組み合わせ)

- 1 A B
 2 A C
 3 A D
 4 B C
 5 C D

問題 85: 正答 5 × × ○ ○

- A. × 「長くなる」ではなく「短くなる」である。一般に高齢者は睡眠が浅く、夜間に何回も目が覚めたり、朝早くに目が覚めたりする現象が見られ、そのほとんどは老化に伴う自然な変化と考えられている。
- B. × 逆の説明になっている。睡眠は、深い眠りのノンレム睡眠(脳の睡眠)から入り、次に浅い眠りのレム睡眠(身体の眠り)へと移行する。それ以降は、約 90 分周期でノンレム睡眠とレム睡眠を一定のリズム(一晩に 4～5 回)で繰り返すので、睡眠時間は 90 分の倍数がいいといわれている。
- C. ○ 身体的に気持ちよく眠りやすい工夫をし、血行をよくして、体の冷えを防ぎ、空腹、満腹の状態は避けることが大切である。
- D. ○ 規則的な生活のリズムと習慣をつけて、軽く疲れる程度の運動を日中に行うようにする。同時に、精神的なストレスを解消したり、心理的要因(緊張、不安、恐怖、不満、悲しみ、ねたみ、失望などの)を取り除くことが大切である。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題 86 衣服と着脱の介助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 片麻痺がある場合、ズボンは健側からはく。
- B. 寝たきりの場合、寝間着は適度な大きさと背縫いがないものを選ぶ。
- C. 肢体に障害がある場合、利用者の身体状況と好みを考慮して衣服を選ぶ。
- D. 上肢に痛みを伴う場合、伸縮性のある素材で袖ぐりの大きな衣服を選ぶ。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問題 86: 正答 4 × ○ ○ ○

- A. × 「健側」ではなく「患側」である。衣服の着脱は、「脱健着患」で記憶する。健康な側から脱いで患側から着る。
- B. ○ 背縫いがないと、背中がごろごろすることがない。寝たきりの方の場合には、寝間着のしわなどからも床ずれができることがあるので注意を要する。
- C. ○ 衣類を選ぶ際のポイントは、①皮膚から出る汗や脂をよく吸いとってくれる素材であること、②皮

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

膚にかゆみなどを生じない肌ざわりの柔らかい素材であること, ③ゆったりと活動的で動きやすく障害の程度に適していること, ④色合いや柄は利用者の好みを尊重すること, である。

D.○上記 C の解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題87 入浴介助に関する次の記述のうち, 適切なものに○, 適切でないものに×をつけた場合, その組み合わせとして正しいのを一つ選びなさい。

- A. 入浴前には, 利用者に入浴の意思を確認し, 健康状態の観察を行う。
- B. 冬期は, 居室, 脱衣場, 浴室の温度差が大きくならないようにあらかじめ暖めておく。
- C. シャワーは, 必ず介護職員自身の肌で温度を確認して使用する。
- D. 入浴後は疲労しているため, エネルギーを消耗させないように水分補給を控える。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問題 87: 正答 1○○○×

●入浴は, 身体の清潔を保つだけでなく, 血行をよくし精神的な安定を与える。しかし, 利用者にとってはかなりの運動量になり, 体力を消耗することを入浴介助者は十分理解しておく必要がある。

A.○入浴に際して, 褥瘡や湿疹の有無, 皮膚の状態などの健康状態をチェックできる。入浴は利用者の意思の確認をしたうえで, 入浴前後の観察を十分に行い, 利用者の障害に応じた安全な方法で介護することが大切である。

B.○体調をチェックし, 食前, 食後直後は避け, 排泄をすませて入浴する。浴室や脱衣所は先に暖めておき, 利用者の部屋との温度差がないように気をつける。

C.○介護者自身の足元にシャワーをかけ温度を確認したうえで, 利用者の足元から全体にかける。

D.×「水分補給を控える」ではなく「水分補給を十分に行う」である。入浴によって, 血液中の水分が失われ, 血液の濃度が濃くなり血管が詰まりやすくなる。入浴後は, 必ず十分な水分補給が必要である。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題88 次の記述のうち, 適切なものに○, 適切でないものに×をつけた場合, その組み合わせとし

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

て正しいものを一つ選びなさい。

- A. 痛みを訴える人には、体位変換をしないようにする。
- B. 安楽な体位でも長時間同一体位を続けると苦痛の原因になる。
- C. 足浴には、安楽をもたらす効果がある。
- D. 発熱時に頭部に氷嚢を当てる主な目的は、安楽をもたらすためである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 88: 正答 3 × ○ ○ ○

A. × 「体位変換をしない」のではなく、痛みの対処をしながら「体位変換をする」である。長時間同じ姿勢で寝ていると身体と同じ部分に圧迫が集中し、血行不良や褥瘡の原因になる。一部の血行不良は全身の血液循環にも影響し、心臓や肺などの機能低下を招くことになる。少なくとも 2 時間おきに体位変換を行う。

B. ○ 高齢者の場合、一週間寝たきりの状態でいると筋肉や関節が硬くなって、起き上がる力が低下する。また、安楽な姿勢であったも、長時間同じ体位でいると、苦痛、疲労を招き、褥瘡を形成することにもつながる。

C. ○ 足浴は、不眠時に用いると入眠を促す効果がある。座位が保てる場合は、ベッドサイドで、端座位で行い、座位が保てない場合はベッド上で行う。

D. ○ 氷嚢や水枕の解熱作用は一時的なもので、熱の原因を解消するものではない。安楽を主たる目的とするので、発熱でつらいときには、頭部に氷嚢や水枕を利用すると心を落ち着かせてくれる。その場合、手首やわきの下に当てると効果的である。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題89 褥瘡の予防に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 自力で寝返りができない場合は、定期的に体位変換を行う。
- B. 皮膚に発赤が見られる場合は、その部位をマッサージする。
- C. 仰臥位で寝たきり状態の場合、褥瘡の好発部位は大転子部である。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

D. 栄養状態を悪化させないことは、褥瘡の予防につながる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 89: 正答 3○××○

●褥瘡は、いったん発生すると一般に治癒させるのが困難であるため、予防が重要とされている。褥瘡予防のポイントは、①栄養状態の改善(全身管理)、②寝たきり状態をつくらない、③こまめに体位変換を行う、④皮膚や寝具を清潔に保つ、⑤皮膚に摩擦を与えない、⑥除圧用具を使う、である。

A.○体位変換は原則的には 2 時間ごとである。体圧分散寝具を使用していても定期的な体位変換は必要で、体位変換後は、身体の下側でマットレスや布団から圧迫されていた骨突出部上の皮膚を観察する。皮膚に発赤がみられれば、その部位に褥瘡発生の危険があることを意味するので体位変換時間を 2 時間より短くする必要がある。

B.×マッサージは、血行を改善するが、発赤している部位では、マッサージはかえって褥瘡を進行させる。また、皮膚が湿った状態は乾燥した場合に比較して 5 倍も褥瘡になりやすいとされている。

C.×「大転子部」ではなく「仙骨部」である。褥瘡の好発部位は、頭部・肩甲部・肘部・殿部・踵部などで、いずれも人体骨格の突出部であり、体圧が集中する部位である。特に、殿部は褥瘡の 80%が発生し、仰臥位では仙骨部に体圧が集中し、仙骨部が一番の好発部位で、全褥瘡の 50%が発生するとされている。

D.○褥瘡の予防および治療には、局所管理、除圧とともに、上記解説にあるとおり全身管理といわれる良好な栄養状態の改善(栄養管理)が不可欠とされている。不十分な栄養状態は、全身状態を悪化させるとともに、皮膚組織の耐久性を低下させ、褥瘡を発生しやすくする。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題90 薬の知識に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A. カプセル剤が飲みにくい場合には、中の薬剤を出して飲んでよい。
- B. 座薬は、冷蔵庫で保管する。
- C. 同じような症状であっても、以前処方され飲み残した薬は使用しない。
- D. 降圧剤は、利用者の判断で服用を中止してよい。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 90:3×○○×

A.×薬には、錠剤・カプセル・粉薬などの形態がある。どこで溶けてどこに効くのが考えられたうえ、その薬にあった形態になっている。したがって、カプセルから取り出して粉だけ飲んだり、錠剤をくだいて飲みやすくするなどを行ってはならない。病気によっては、病状を悪化させ、さらには生命にかかわる危険性もある。

B.○座薬は、体温くらいの温度で溶けるようになっているので、冷蔵庫で保管する。

C.○一人ひとりのその時の症状や体調に合わせて、医師は薬を処方している。たとえ症状が同じであっても飲み残した薬を飲んではいけない。自己判断で薬を使用せず、改めて医師の診察を受けるようにしなければならない。飲み残した薬は、治療が終わった時点で原則として破棄する。

D.×「利用者の判断」ではなく「医師の判断」である。薬物療法においては、医師の処方した薬を患者は指示どおりに服用することが前提である。実際は副作用や病状の自己判断などによって、服薬しない場合があるが、高血圧の人が飲んでる降圧剤を急に中止し、かえって急激な血圧上昇をきたすリバウンド現象が生じる場合があり、生命の危険すらあるため、自己判断は避けなければならない。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】

問題91 一次救命処置(BLS)ガイドラインに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 倒れている人に遭遇した場合、まず周囲の安全と意識の確認を行う。
- B. 気道の確保は頭部を後屈にし、あご先を挙上させて行う。
- C. 気道確保後、自発的呼吸の有無の判断に迷う場合は、人口呼吸を行わずに様子を見る。
- D. 自動体外式除細動器(AED)を使用できる者は、医療職に限られる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

5 × × ○ ○

問題 91: 正答 1○○××

●「わが国の新しい救急蘇生ガイドライン(骨子)【一次救命処置(BLS)】」は、2006年6月12日付で発効された。

●発見時の対応手順(成人):(本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会のホームページから引用)

「①肩を(かるく)叩きながら大声で呼びかけて、何らかの応答や目的のある仕草がなければ「反応なし」とみなす。

②反応がなければその場で、大声で叫んで周囲の注意を喚起し、CPRを開始する。

③誰かが来たら、その人に119番通報(緊急通報)とAEDの手配(近くにある場合)を依頼し、自らはCPRを継続する。

④救助者が一人だけのときは、自分で119番通報を行い、AED(近くにあれば)を取りに行く。その後、CPRを開始する。」

A.○上記の解説を参照のこと。

B.○気道確保は、「外傷の有無に関わらず、気道確保は頭部後屈・あご先挙上法で行う。」とガイドラインに明記されている。

C.×「「正常な呼吸」や「普段どおりの息」がない場合、特に死戦期呼吸(いわゆる喘ぎ呼吸)を認める場合は心停止とみなす。」「反応がなければその場で大声で叫んで周囲の注意を喚起し、心肺蘇生(CPR)を開始する。」とガイドラインに明記されている。

D.×「医療職に限られる」ではなく「市民も行うことができる」である。上記の解説を参照のこと。

【Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.】